

科目名	対象学科・学年 文学部文財3 回生 文学部コミ3 回生 人間人社3 回生	担当者
総合演習		三宅 奎介
授業テーマ 現在の社会の問題点を広く理解し、課題の解決に向けての研究をすすめる。		
授業の概要と目標 今、社会は激しく変化している。地球温暖化はなぜ起こるのか。エネルギー問題は何をもたらすか。また、冷戦後の世界は人間尊重の方向を歩んでいるのか。開発途上国はどうなっていくのか。さらに、21世紀の日本はどうなるのか。何が問題なのか。本演習では受講者が各自（グループ）が課題を見つけ、テーマを設定し、多様な観点から調査・研究をすすめる。そして、問題解決のために発表・討論しながら授業をすすめる。		
評価方法 授業目的の到達度の判断として ①発表内容（50％）②討論への主体的参加および授業への姿勢（25％）③自己および相互評価（25％）を基準に総合的に決定する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 適宜、参考書籍を紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 第1講 オリエンテーション ・授業の内容と演習のすすめ方 ・自己紹介 第2講 人間はどうして豊かになれないのか（プレゼンテーション） ・ 開発途上国の生活実態 ・ユニセフやNPOの活動 第3講 研究課題の設定 ・現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。 第4講 実践アクセス講義（現地学習） 「リバティおおさか」見学（ガイドボランティア講和） ・社会の矛盾を「掘り起こそう」 ・市民の人権は守られているか 第5講 わたしたちは美しい地球を未来に残せるか（プレゼンテーション） ・開発と環境破壊 ・食料問題 第6講 課題解決の追求・研究① ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 第7講 課題解決の追求・研究② ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 第8講 課題解決の追求・研究③ ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 第9講 課題解決の追求・研究④ ・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。 第10講 研究報告会・評価会① ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 第11講 研究報告会・評価会② ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 第12講 研究報告会・評価会③ ・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 第13講 研究報告会・評価会④ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。 第14講 課題の整理と研究のまとめ 第15講 定期試験		